

ぼんぼり山便り

毎月第一土曜日、第三日曜日 10時～15時位に活動しております。

第22回定例活動の報告

(3月16日 第三日曜日)

参加者 22名

・春の訪れを待ちかねたように大勢のハイカーが乗り合わせている。花粉を除けば快適な活動ができるシーズンの到来。梅をはじめ沢山の花々が咲き始めた。次回に来るときは桜の花が待っていてくれるかも。



・今日は、全員が前回下見した中井地区の所有者の森の整備にあたる。「柚子の畑の日当りを好くしてほしい」という所有者の要望を受け、柚子畑の上部にあるヒノキ林の枝打ちと更にその奥に広がるスギ林のボサ刈に取組む。

・まず最初に全員がスギ林の入り口近くにある「祠」にお参り。お神酒などお供え物を備え、仲間の祝詞にあわせ山に入る許しを請い、作業の安全を祈願した。



【除伐班】

・今日は初めて入る中地区にある山での作業である。今後、間伐と除伐作業をするために邪魔となる雑木を取り除くのだが、目に見えるのは、青木ばかり。冬場には赤い実をつけ、かわいらしい。しかし、今日の作業目的は、この青木退治である。

・数人で山へ入るが、青々と密集している木々に人が隠れてしまう。前方にある青木の中から「くん、くん、なくしゃだけだてる。水と戦っても、防備たつも杉林へティアに来る仲間には頭が下がる。いつもは、鉈でさつと取り除くため、「青木ごとき」と粗雑に伐採をしていたら、倒れた際の跳ね返りが危うく顔に当りそうになった。なかなか、青木も手強い。



・午前、午後と春らしい天気の中、気持ちよく作業が進む。青木を倒した箇所は、日ざしが差し込み、明るい森になってくる。作業成果がこれほどすぐ、はつきりと出るのは嬉しいものである。

【枝打ち班】

・いつもは活動基地周辺で物作りを行なっているメンバーが中心となって枝打ちの作業に取組んだ。3脚の梯子の他、「木登り君?」や伸縮ポール先の鎌刀のような形をした鋸の刃がついた新兵器まで登場。このメンバーの方達はいろいろ研究されているんですね。このヒノキは幹が細い物が多く梯子に登って作業している仲間の体も木と一緒に揺れている。ちよつと高所恐怖症の者にとつては苦手…。初めて木登り君を体験した仲間は、コツが掴めれば梯子より楽かもといっている。尚、履物は地下足袋のような物の方が合っているそう。一方、柄の長い鋸の方は上に持ち上げながらの作業となるため、その重さが問題になるようです。



・今日一日の作業で枝打ちはほぼ終了し、林床にも日ざしが入るようになり明るくすっきりとした姿に生まれ変わ、その成果は歴然として気持ちが良い。

・終わりのミーティングから、森の呼び名：従来の活動地：「東の森」と表すこととする(盆堀東平から)中井地区：「中の森」と表すこととする。

ぼんぼり山便り

<http://members2.jcom.home.ne.jp/bonbori/>

活動報告の詳細等は、ホームページへ...

第23回定例活動の報告

(4月5日第一土曜日)

参加者 22名

曇り空ではあるが暖かい。天気予報では20℃位まで上がるといふ。車窓からは満開の桜の花が目を楽しませてくれる。我が家の近くの小学校の入学式は「日」といふ。それまで桜の花は待つてくれるだろうか。校庭の桜の花をバックに記念撮影、遠い昔の思い出がよみがえる...

今日は東の森で除伐、ボサ刈などの森林整備を中心とした活動を行なう。

【除伐班】

・手鋸作業の良い面は、木を切る基本技術が熟得できること。手鋸作業は、チェーンソーと比べて格段に作業能率が悪い、と思われるかもしれない。ところが、我々の手がける杉・檜は細いためか、一日で倒せる数に10本までの大差はない。作業が遅いのは、技量不足に加え、自分なりに上級の技(?)を2つ習得しようと思いつたからである。

・一つめは、木が倒れる速度に勢いを増すことで、掛かり木になることを防ぐ技。それには、基本より大きな受け口を作り、倒れる速度を早くすればよい、らしい。

・もう一つは、ツルを利用して木の重心が傾く方向をコントロールしながら倒す技。受け口



に対して平行に追い口を切っていくのが基本だが、平行に切らず微調整して狙った方向に倒すのである。これは、初めに倒そうと狙った方向からずれてしまう「下手つぴ」な自分には利用頻度が多く、有効な技である。伐倒作業は、隣の木に掛かってしまった木は、引きずったり、ゆさぶったり、という作業をする。何度か「ダルマ倒し」のように、切った木が切り株から離れた所で垂直に立つことがあった。一歩間違えれば、自分の上に降りかかってくる危険性があり、冷や冷やする。こうした時の処理が技術の必要するところである。

【基地廻り】

・柚子の枝の処分に、今回も火回り班は、煙そう熱そう。気候が良くなればなるほど、景色はいいけど、暑さと熱さに参るなあ。

・変換ミスから思いついた。



【火回り班】

「火回り班」↓
「向日葵班」で、少しは、熱さ解消?んなことないか。

・午前中の小屋周辺は、桶の製作やら、賑やかだ。午後からは、久々に...と山の中へ入っていった。

・普段、平地で見掛けるメンパーが、山の中での作業をしている。見慣れない光景だったけど、作業になると、みんなパワーを発揮。何本もの木を倒したようだ。充実感たっぷり下山してきたもの。

・人が増えると、危険要因も増えるから、安全確認が大事だね。

【炊事班】

・本日のメニューは、メタボ対策??? 野菜中心の味噌汁。頂いたのらぼうも、味噌汁の具となり、豪華になった! 味噌汁作りは、奥様軍が請け負ってくれた。手際がいいんだな、これが。見習わなきゃ。

味の調整もね、お手のもん。「見習った、ら?」の声が聞こえる...

【地元の方と...】

・いつも、倉庫を使わせてもらったり、お水を頂く頂いた地元の方と話す機会に恵まれた。

鍋を洗わせてもらって



いる最中に、トカゲが目の前を横切った。普段も出没するらしく、種類の違うトカゲを見るのもらった。蛙の卵も見せてもらった。なかなかグロテスク。産んだ場所付近に敵が居ないことを確認できると、親蛙は、山の中へ帰った。

そんな生物の話、蛙の卵なんて、久しぶりだなあ...って思った。

・世間話程度でも話せるようになったこと、うれしく思った。受け入れてくれる方々に、感謝だ。

文...ホームページより

